

Art Gallery

50th
Anniversary
つなぐ
—感謝・創造・未来—

2019年10月5日、ホテルナゴヤキャッスルは開業50周年を迎えました。
名古屋城を望む当ホテルがこの地で半世紀を迎えられましたのも、
これまで支えていただいた皆様のご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。

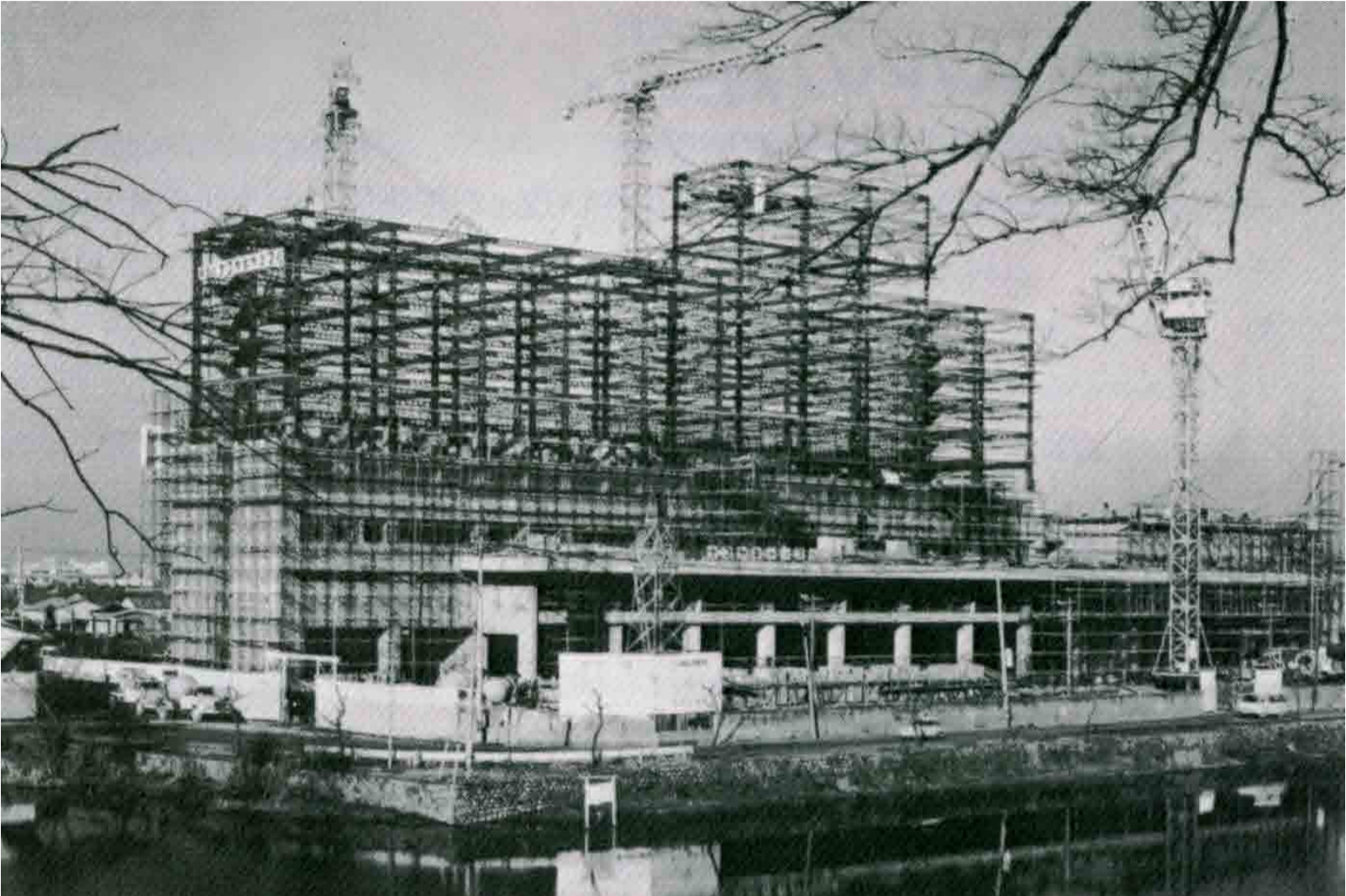
今から50年前、この地に「一流のホテルをつくろう」という熱い思いで、
名古屋を代表するホテルを目指して開業いたしました。

それから50年。キャッチコピー「つなぐ—感謝・創造・未来—」にありますように、
これからも皆様への感謝の気持ちを原動力に、
感動を運ぶ、創造的で洗練されたサービスをスタッフ一同、提供し続けてまいります。

今後とも何卒ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

ホテルナゴヤキャッスル
総支配人 北村 勉





昭和44年4月 ホテルナゴヤキャッスル着工

約1年6カ月という工期にて、地上11階、地下1階、
客室数253室、大・中・小の宴会場を持つ
ホテルづくりが進められた。



昭和45年10月5日 ホテルナゴヤキャッスル開業

待望のホテルナゴヤキャッスル完成。
名古屋城の天守閣を借景にした地で、
「一流のホテルを作ろう」という思いで開業。



大山真珠より“真珠しゃち”

ホテルのシンボルになるようにロビー正面に
約3年を経て作られたオリジナル。
対で雄雌があり、体長は約210センチ、約12万個の真珠で制作された。
開業より2007年まで飾られていた。



日本初の展望エレベーター

外壁に添って昇降する日本初の展望エレベーター、
屋外プールなどが登場。

このエレベーターは日本で第一号であったため、オープン当時、
名古屋人の話題を集めた。



創業当時のホテルロビーと蓬左の間(貴賓室)

貴賓室は皇室や世界のVIPを迎える、ホテル内最高級の部屋。
プライベートロビー、応接間、寝室、化粧室、そしてお付きの方の部屋、
調理人が腕をふるう厨房など重厚感あふれる部屋にて
最高の時空間を用意。



創業当時のメインレストラン「シャンボール」と 茶室「尚古庵」

目の前に名古屋城と日本庭園風の植え込みの中に
錦鯉が泳ぐ池が広がるメインレストラン(写真左)や、
その当時名古屋のホテルでは初の茶室「尚古庵」(写真右)が造られた。



創業当時のバー「シャトレーン」・スカイレストラン「クラウン」

一時間に360度まわる回転バー(写真上)や
バニーガールでもてなすバー(写真左下)、
日本情緒を伝える滝の流れを望む地下レストラン(写真右下)など
「地味で堅実」と言われる名古屋のイメージを軽やかに塗り替え、
連日連夜、大勢のゲストが押し寄せた。



昭和54年7月31日
皇太子殿下・美智子妃殿下(当時) 来訪

「サービスは人なり」と創業以来の精神とキャスルホスピタリティーで
数多くの皇室や世界のVIPをもてなした。



昭和63年8月4日「天守の間」オープン

中部圏最大の宴会場である

3000名収納可能な「天守の間」のオープンや

フィットネスクラブの創設など、

時代のニーズに合わせて、急速な進化を遂げてゆく。



平成17年3月25日

「愛・地球博」の迎賓館とレセプションホールを運営

2005年愛知県で開かれた日本国際博覧会「愛・地球博」で
国内外の賓客をもてなす迎賓館とレセプションホールの運営を託され、
海外120ヶ国のナショナル・デーを担当。
またこれまで培ってきたチーム力を国際交流の舞台で発揮。



平成26年11月9日
皇太子殿下・雅子妃殿下(当時)来訪

現在の天皇皇后両陛下も幾度となく、ホテルにご来訪され
長年皇室にご愛用いただける事は歴史あるホテルの誇りである。



令和元年10月5日
ホテルナゴヤキャッスル開業50周年
開業から半世紀が経つ2019年。
日本の歴史をつむいできた名古屋城を望む
この地にふさわしい伝統と格式、
信頼に応えるおもてなしを、時を越えて提供し続けます。

ホテルナゴヤキャッスルでは、
「Art Gallery」
に芸術的・文化的作品を展示いただける団体を
プロ・アマ問わず募集しております。
一般の皆様にアートギャラリーをお貸しし、
オリジナルの作品を月替わりで展示いたします。